

2017年12月31日発行

准看協 News

一般社団法人日本准看護師連絡協議会 広報委員会

12

 月号

第48回中四九地区医師会看護学校協議会の報告

8月19～20日の2日間に渡り熊本で行われ、シンポジウム、総括討議に参加をさせていただいた。今回は、医師会立看護学校の現状と展望とくに准看護師課程の存続意義についてと題して、基調講演として厚生労働省医政局看護課長の島田陽子氏は「看護職員の養成と確保について」、日本医師会常任理事の釜范敏氏は「准看護師制度の意義と日本医師会の活動方針について」、藤川病院理事長の藤川謙二氏は「地域に於ける看護師育成機関の現状と今後の准看護師制度の意義について」、私は「准看協設立の経緯と准看護師制度維持の意義について」を講演した。

総括討議では、各看護学校の現状が報告され准看護師養成校からは募集人員がなかなか集まらない、実習病院がみつからない、教員も不足している等の報告がされていた。全国の准看護師養成校でも同じような問題を抱えている所が少なくないと思われ、准看協として何ができるのか、意見交換を行いながら検討していきたい。〔報告：滝田浩一会長〕



講演する滝田会長

看護学校養成所新設への支援 ～准看護師課程の新設開校への協力～

平成31年4月から准看護師課程の新設開校を目指すという都内にある看護専門学校からの要請を受け、当会役員との意見交換会を行った(会期：平成29年12月8日)。学校側の新設開校への思いを受け、当会ではその趣旨に賛同し全面的な協力支援を行うこととした。

今後も当会は、全国の准看護師学校養成校に対して積極的な支援を行うとともに、引き続き准看護師養成制度の維持・存続を求めている。



看護専門学校側からの説明等の様子



役員からの質問・確認の様子

第4回 みんなで考えよう准看護師制度 今回のテーマ「准看護師への一步」

前号でもお伝えしたとおり、准看護師学校養成所は減少したとは言え、全国に234校あります。中卒から目指せる唯一の資格でもあり、在学生の年齢層が幅広いのも特徴的です。なによりも、働きながら収入を得て、2年間の通学で資格取得ができるメリットは大きく、社会人経験者に対しても広く門戸が開かれているといえるでしょう。

看護職は、とってもしゃりがいのある職業です！あなたも、准看護師を目指してみませんか？現在、全国の看護学校養成所で学生募集が始まっています。

※詳しくは当会ホームページの「これから准看護師を目指す人」にアクセスください。